5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
1F初 寸		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	466. 8		413. 0		411. 0	
備蓄米	1. 1		18. 0		18. 0	
飼料用米	109. 5		120. 0		135. 0	
米粉用米	0.0		0. 0		0. 0	
新市場開拓用米	0.0		0. 0		0. 0	
WCS用稲	32. 5		33. 0		36. 0	
加工用米	0.0		0. 0		0. 0	
麦	0.0		0. 0		0. 0	
大豆	41.5		31. 9		31. 0	
飼料作物	12. 7		8. 9		4. 0	
・子実用とうもろこし	0.0		0.0		0. 0	
そば	28. 5		25. 7		49. 0	
なたね	0.0		0. 2		0. 0	
地力増進作物	0.0		0.0		2. 0	
高収益作物	3.8		2. 4		2. 4	
・野菜	3. 2		1. 9		2. 1	
・花き・花木	0. 1		0.0		0. 0	
・果樹	0.0		0.0		0. 0	
・その他の高収益作物	0. 5		0. 5		0. 3	
その他	0.0		0.0		0.0	
・その他	0.0		0.0		0.0	
畑地化	9. 6		19. 2		8. 3	

6 課題解決に向けた取組及び目標

	0 味趣所次に叩けた 収組及び日標						
整理 番号	対象作物	使途名	目標	 前年度(実績)	目標値		
		生産性向上技術導入加 算助成	取組面積	(6年度)41.5ha	(8 年度)31. 0ha		
	大豆(基幹作)		収量	(6年度)99.0kg/10a	(8年度)150.0kg/10a		
2	そば・なたね(基幹作)	生産性向上技術導入加 算助成	取組面積	(6年度)28.5ha(そば) (6年度) 0.0ha(なたね)	(8年度)49.0ha(そば) (8年度) 2.0ha(なたね)		
			収量	(6年度)13.7kg/10a(そば) (6年度) 0.0kg/10a(なたね)	(8年度)35.0kg/10a(そば) (8年度) 203.0kg/10a(なたね)		
3 WCS用	WCS用稲(基幹作)	生産性向上技術導入加 算助成	取組面積	(6年度)32.5ha	(8 年度)36. 0ha		
	WUUの角間(参野TF)		収穫量	(6年度)1,704.2kg/10a	(8年度)2,000kg/10a		
4	飼料用米(基幹作)	生産性向上技術導入加 算助成 (飼料用米多収品種)	取組面積	(6年度)109.5ha	(8 年度)135. 0ha		
			収量	(6年度)574.0kg/10a	(8年度)620kg/10a		
5	野菜、花き・花木、 その他(別紙1) (基幹作)	地域振興作物助成	作付面積	(6 年度)3. 8ha	(8 年度)2. 4ha		
6	エン麦、ソルゴー、ヘア リーベッチ、れんげ (基幹作)	【国枠】地力増進作物 助成	主食用米面積	(6年度)466.8ha	(8年度)411.0ha		
			取組面積	(6 年度)0. 0ha	(8 年度)2. 0ha		

[※] 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

[※] 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名: 青森県

協議会名: 平内町農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作 期 等 *2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	生産性向上技術導入加算助成	1	14,000	大豆(基幹作)	肥効調節型肥料の施肥、土壌改良資材の施用、プラウ耕、明渠等
2	生産性向上技術導入加算助成	1	3,000	そば・なたね(基幹作)	種子更新、耕うん同時畝立て播種、土壌改良資材の施用 等
3	生産性向上技術導入加算助成	1	4,000	WCS用稲(基幹作)	共同機械の利用、2段階施肥、肥効調節型肥料の施肥 等
4	生産性向上技術導入加算助成 (飼料用米多収品種)	1	6,000	飼料用米(基幹作)	共同防除機またはラジヘリ等による防除、立毛乾燥 等
5	地域振興作物助成	1	35,000	野菜、花き・花木、その他(別紙1)(基幹作)	農協(部会)の指導マニュアル等に沿った肥培管理 等
5	地域振興作物助成	1	30,000	野菜、花き・花木、その他(別紙1)(基幹作)	農協(部会)の指導マニュアル等に沿った肥培管理 等
6	【国枠】地力増進作物助成	1	0	エン麦、ソルゴー、ヘアリーベッチ、れんげ (基幹作)	地力増進作物の播種、肥培管理、すき込み 等

^{※1} 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

^{※2 「}作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

^{※3} 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

^{※4} 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。